



生徒が主役 海青

2026年5月26日

学校便り No.6

文責：校長 渡辺 景輔

唐津市鎮西町横竹838番地9

【学校教育目標】

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成
～生徒が主役の学校に～

今年度変更しました

有意義な修学旅行・バス研修

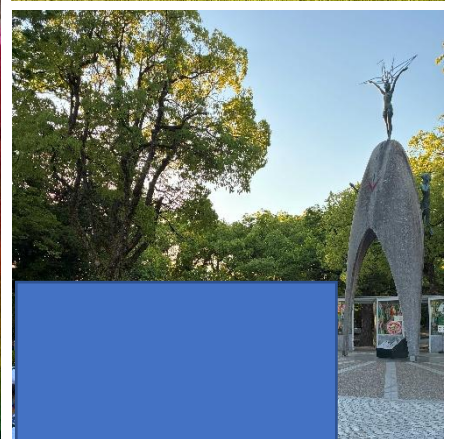
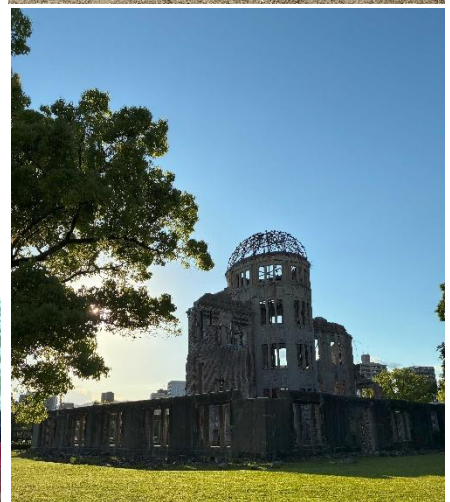
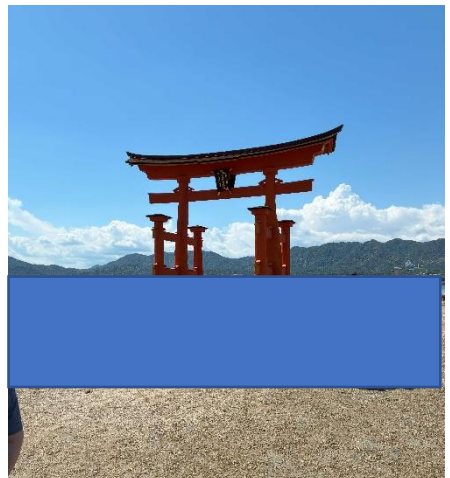
5月13日(水)～15日(金)、3年生は広島・下関・門司・熊本方面へ修学旅行に行ってきました。出発式では、「事故なく無事に帰ってくること」「3日間を目的意識(①集団行動を通して、人間関係を深める。②平和・人権について考える。③歴史・文化に触れ、郷土を見つめなおす。)を持って過ごすこと」「家族への感謝を忘れないこと」を伝えました。

1日目は、広島の平和記念公園で、「被爆体験講話」「資料館見学」「平和集会」を行いました。多くの尊い命が戦争によって奪われた事実に触れ、平和について深く考える時間となりました。語り部の方からは「真剣に話を聞く姿から、事前学習にしっかり取り組んできたことが伝わりました」とのお言葉もいただきました。夜には、保護者の方々からの手紙を読み、命や家族への感謝の気持ちを改めて感じている様子でした。

2日目は、下関において海響館(水族館)を見学した後、下関・門司港周辺の班別自主研修を行いました。班ごとに計画を立て、協力しながら活動する姿が見られました。

3日目は、開園と同時にグリーンランドでの活動を満喫しました。3日間を通して天候にも恵まれ、目的意識をもって行動し、成長を実感できる有意義な修学旅行となりました。

また、1・2年生も、13日(水)にバス研修を実施し、平和学習や海洋学習に取り組みました。どの学年にとっても、学びの深まる充実した時間となりました。



梅雨の時期、災害に備えて注意すべきことは？

近年、梅雨の時期に限らず、これまで経験したことのないような大雨が局地的に降るケースが増えています。豪雨による洪水や土砂崩れ、道路の冠水など、身近な危険につながる状況がいつ起きても不思議ではありません。また、昨年度4月には奈良県で、雨天時の部活動中に中学生・高校生が落雷の被害にあう事故も発生しました。こうした災害から身を守るためには、正しい知識と適切な行動を日頃から身に付けておくことがとても大切です。

「豪雨災害への備え」「落雷への注意」「水や食料の備蓄」「天気予報や警報の確認」など、日頃からできる備えは多くあります。ご家庭でも、ぜひお子さまと一緒に「もしもの時どう行動するか」について話し合い、災害への意識を高めていただければと思います。日頃の準備が、いざという時に大きな力になります。

【注意点】（気象庁より）

- (1) 天気予報で気を付ける言葉 → 「大気の状態が不安定」「天気が急に変わる」「雷雨」
- (2) 積乱雲（大雨や雷を引き起こす雲）のサイン → 「黒い雲」「冷ッとした風が吹く」「雷」
- (3) 雷は、金属を身に付けているか、いないかは関係なく落ちる。
- (4) 雷の音が聞こえた時点で、10キロ範囲内は雷が落ちる可能性があり、危険である。
- (5) 木の下で雨宿りは危険 → 雷の音が聞こえたら、しっかりした建物や自動車に避難する。

昨年度から、唐津地区中学校体育連盟の総合体育大会（夏の中体連）においても、落雷事故防止のため、次のような防止策がとられ実施されています。

- (1) 気象庁ホームページにて、雷注意報・警報や雷ナウキャスト等を確認する。
- (2) 雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合は、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。避難場所については、各競技要項（申し合わせ事項）に記載し、周知する。
- (3) すべての競技において、中断後、最後の雷鳴から20～30分間経過し、周囲の状況等を鑑みて協議を開始する。

6月の主な行事予定

日	曜	主な行事予定	日	曜	主な行事予定
---	---	--------	---	---	--------

--	--	--	--	--	--